

令和2年6月15日  
2号

保 健 だ よ り

二条保育園

手足口病 (本日6月15日現在)

2歳児 はな組 1名 3歳児 ほし組 1名 5歳児 つき組 1名

先週、手足にぽつぽつと発疹の見られた子どもが受診されたところ、手足口病との診断でした。

また解熱後、手足の発疹がでてきた子どもが受診されたところ、「断定できない」と、かかりつけ医から判断された例もあります。お子さんの様子に気をつけてください。

京都府感染症情報センター 京都小児重症患者診療情報システム管理部 長村敏生Drより

エンテロウイルスが原因となる手足口病は4歳位までの幼児を中心に夏季に流行します。過去には2011年と2013年に大流行がありました。予後良好な疾患ですが、稀に急性髄膜炎や脳炎などを引き起こすことが知られており、死亡する例もみられます。

感染後3~5日の潜伏期間の後、口腔粘膜、手掌、足底や足背などの四肢末端に2~3mmの水疱性発疹が出現します。発熱はあまり伴わず、体温は38度以下のことがほとんどです。

特異な治療法はなく、発疹に対して外用薬は用いられません。水分補給と手洗いが重要です。治療後からも便からの感染がありえますので、排便後の手洗いを特に徹底してください。

『BeWell65』で対応をお願いいたします。登園届が必要です。

